

# 歌川広重

## 《東都名所 永田馬場山王宮》

大判錦絵三枚続、当館蔵

④の裏側を貼る



①

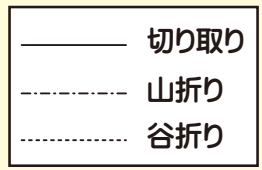
① 黒い線に沿って切り取り下部は谷折りする。

必要な道具：ハサミ、カッター、糊（木工用ボンド）、（ピンセット）、等

用紙が厚いため、ピンセットの先で折り筋つけるとききれいに折り曲げられます。

②

上部のりしろは折り曲げて①の●へ貼る。  
下部は山折りして①の▲に貼る。



②

③

鳥居の中はカッターで切り抜く。  
下部は山折りして①の★に貼る。



③

④

枠の中はカッターで切り抜く。  
最後に上部の裏側を①に貼る。  
下部は山折りして①の底の下に重ねて貼る。



①の底部分と重ねて貼る。

④

### 歌川広重《東都名所 永田馬場山王宮》 天保（1830～44）初期～中期頃

永田馬場山王宮とは現在の永田町二丁目あたりにある山王権現（現在の日枝神社）のことを指す。江戸時代初期、この近くに馬場があり、道筋に沿って永田姓の旗本屋敷が並んでいたことから「永田馬場」と呼ばれ、町名の由来になっている。神田明神と隔年交代で6月に行われる山王祭は、将軍も上覧する天下祭として、大変な賑わいであった。神社は山王様と呼び親しまれ、家族での七五三のお参りの様子が描かれている。ライデン国立民俗学博物館（オランダ）所蔵の同作には改めを示す「極」印が押されているが、本作にはない。

